

新聞配達もドローンで

北海道新聞の販売所若手経営者らによる「札幌地方道新青年会」は21日、旭川市の河川敷でドローンを使った新聞配達の実証実験を実施した。地震など災害時でも、配達手段を確保するのが狙い。大地震で橋が壊れ、道路が寸断されたとの想定。実験でドローンはゆっくりと地面から上昇し、安定した様子で飛行して、約1分で新聞10部を約200戸先の対岸の目的地

災害想定、北海道で実証実験

に運んだ。実験に携わった北海道新聞永田販売所（札幌市）の伴野卓磨副所長（41）は「無事に運ぶことができて良かった。新聞は何かあった時に必要とされる情報の基盤だ」と話した。実験は、5月に会員から新たな配達手段として、ドローンを活用できないかという意見があり、地震発生前に実施が決まっていた。



地震で橋が壊れたことを想定して行われた実証実験で、新聞を運ぶドローン＝21日、北海道旭川市

かほく ワークシート

問題

- ①新聞配達にドローンを使う狙いは何ですか。文中の言葉を使って書きましょう。
- ②災害時に新聞が必要とされる理由を書きましょう。

（中学生～／朝の会前10～15分）

出題者から

東日本大震災の際は、テレビもインターネットも使えない状況になり、次の日に届いた新聞で初めて、自分たちが置かれた状況を知った方も多くいました。災害時は情報が命綱になります。ドローンを使うことで配達手段が増えるのは、とてもよいと思います。

（日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市高森中教諭 木下晴子）

10月28日付「かほくワークシート」の模範解答

- ① 新聞配達にドローンを使う狙いは何ですか。

文中の言葉を使って書きましょう。

地震など災害時でも、配達手段を確保すること。

- ② 災害時に新聞が必要とされる理由を書きましょう。

自分がどのような状況にいるのかを知り、

どのような行動を取るのがよいのかを判断できるようにするため。